

2018年3月8日

損害保険ジャパン日本興亜株式会社

新サービス『THE すまいのハザードマップ』の本格リリース開始

損害保険ジャパン日本興亜株式会社（社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン日本興亜」）は、2018年4月から、公的機関等が開示するハザードマップに損保ジャパン日本興亜の保険金支払実績データを加えたオリジナルのハザードマップ『THE すまいのハザードマップ』をご提供します。

1. 開発の目的・コンセプト

近年、地震や台風等の自然災害の増加を受け、お客さまの災害に対する意識が高まっています。このような現状をふまえ、最新のデジタル技術を活用し、地震発生確率や洪水時の想定浸水深、土砂災害危険箇所などの自然災害リスクを可視化した、独自の総合的ハザードマップサービスを開発しました。

本サービスは、損保ジャパン日本興亜の代理店がお客さまへ、火災保険・地震保険のご提案時や更新のタイミング等にご案内する情報提供ツールです。お客さまご自身がお住まいの地域の自然災害のリスクを正しく理解していただくことで、加入される保険に対する納得感のさらなる向上を図ることを目的としています。

2. 『THE すまいのハザードマップ』の概要

(1) 主な機能・特長

項目	内容	イメージ
①お客さまの住所ごとのリスク判定・表示	公的機関等が公表しているさまざまなデータと損保ジャパン日本興亜が保有している保険金支払データを、GIS※の技術を活用して集約し、可視化します。お客さまの住所を入力すれば、ピンポイントでその場所のリスクを判定、表示することができます。	【別紙】1.
②災害や事故事例の表示	災害ごとの事故事例の写真や、支払保険金の事例などを掲載しており、自然災害のリスクを具体的にイメージいただけます。	【別紙】2.
③避難施設情報や補償内容のおすすめ表示	自然災害などのハザードマップに加え、緊急時の最寄りの避難施設の情報や、お客さまのリスク度合いに応じた補償内容のおすすめ情報も表示が可能です。	【別紙】3.

※GIS（Geographic Information System：地理情報システム）とは、地理的位置を手がかりに、位置に関する情報を持ったデータ（空間データ）を総合的に管理・加工し、視覚的に表示し、高度な分析や迅速な判断を可能にする技術です。

(2) 開始日

2018年4月1日から全国の損保ジャパン日本興亜代理店を通じてご利用いただけます。

3. 今後の展開

『THE すまいのハザードマップ』を通じた適切な情報提供により、お客さま満足度の向上を図っていきます。

また今後も、お客さま満足度のさらなる向上に向けて、I o Tなどの先進的なデジタル技術を活用したさまざまなサービスの検討・開発を行っていきます。

以上

【別紙】『THE すまいのハザードマップ』の画面イメージ

1. お客さまの住所ごとのリスク判定・表示

THE すまいのハザードマップ

LOGアウト

地震発生リスク | 液状化リスク | 津波リスク (南海トラフ地震) | 津波リスク (首都直下地震)

発生確率
リスク高
80%~
60~80%
40~60%
20~40%
10~20%
0~10%
リスク低

リスク度合
高
(地震発生)

お住まいの住所における
震度6弱以上の地震発生確率
45.7% (今後30年間)

事故発生率ランキング
① **255**位/1190 (市区郡単位)
全国1190市区郡における東京都新宿区の事故発生率の順位 ※3
1事故あたりの平均支払保険金
¥139.9万円 (全国平均) ※4

2. 災害や事故事例の表示

大雪によるカーポートの破損

事故事例
積雪が30cm以上となり、カーポートがその重さに耐え切れず、破損してしまっ

お支払保険金例 **22.2**万円

雪災の補償内容のポイント
個人用火災総合保険では、積雪等により保険の対象に損害があった場合、損害保険金として、保険金額を限度に損害額から自己負担額を差し引いた額を**全額**お支払いします。一方、住宅総合保険等の従来の火災保険の場合、雪災における損害は、損害額が**20万円以上**でなければ保険金をお支払いすることができませんので、注意が必要です。

(注1) 事故事例は一例ですので、実際の事故によってお支払保険金の額は異なります。
(注2) このページは、「個人用火災総合保険」の概要について説明したものです。詳しい内容につきましては、「ご契約のしおり」またはパンフレット等をご覧ください。

閉じる

3. 避難施設情報や補償内容のおすすめ表示

SOMPO キョウテンクス
損保ジャパン日本興亜

THE すまいの
ハザードマップ

損保 太郎様

緊急時マップ

ログアウト

- ▶ 全国版ランキング
- ▶ 地震・津波 ●
- ▶ 水災・土砂災害
- ▶ 風災 ●
- ▶ 落雷
- ▶ 雪災
- ▶ 交通事故 ●
- 緊急時マップ
- ☰ リスク度サマリ
- 📊 クイック試算
- 📄 PDFで保存

緊急時マップ



周辺施設	名称 (お住まいの住所からの距離)	所在地
最寄の避難施設	新宿中央公園・高層ビル群一帯 (118 m)	東京都渋谷区
2番目に近い避難施設	西新宿小学校 (511 m)	東京都新宿区西新宿4-35-5
最寄の消防署	新宿消防署西新宿出張所 (仮庁舎) (734 m)	新宿区西新宿5-3-1
最寄の警察署	新宿警察署熊野神社前交番 (334 m)	新宿区西新宿2-11-3
最寄の病院	東京医科大学病院 (375 m)	東京都新宿区西新宿6-7-1

SOMPO キョウテンクス
損保ジャパン日本興亜

THE すまいの
ハザードマップ

損保 太郎様

おすすめプラン

ログアウト

- ▶ 全国版ランキング
- ▶ 地震・津波 ●
- ▶ 水災・土砂災害
- ▶ 風災 ●
- ▶ 落雷
- ▶ 雪災
- ▶ 交通事故 ●
- ▶ 緊急時マップ
- おすすめプラン
- ☰ リスク度サマリ
- 📊 クイック試算
- 📄 PDFで保存

おすすめプラン

損保 太郎様 へのおすすめプラン

地震保険セットプラン

地震・津波のリスク度合が「高」となっていますので、地震保険をセットすることを強くおすすめします。

POINT

地震保険の保険金額は、最大で火災保険の保険金額の50%です。損保ジャパン日本興亜の「地震危険等上乗せ特約」をセットすれば、地震保険と合わせて、最大で火災保険の保険金額の100%まで補償することができますのでおすすめです。

東京都新宿区の加入率

60%

(全国平均64%)

家財セットプラン

思っている以上に家財は高額です。> [家財新価の目安について](#)
家財にも地震保険をセットすることをおすすめします。

POINT

昨今、耐震性の高い建物が増えてきていますが、建物に損害が生じなくても、家具類の転倒等により家財に大きな損害が発生する割合が高くなっています。

> [平成28年度熊本地震のデータを見る](#)

東京都新宿区の加入率

49%

(全国平均45%)

以上